

東光寺小学校学校運営協議会通信 No.37

令和5年 12月27日

東光寺小学校学校運営協議会発行 会長 奥住 方彦

今年の夏を振り返って

東光寺小学校学校運営協議会会長 奥住 方彦

今年の夏は記録的な暑さとなりました。熱中症など人の命にも多大な影響を与えた気温でしたが、農作物にも大きな影響がありました。我が家は梨やぶどう、キウイ、学校給食の野菜等を栽培しています。毎年小学3年生を対象に梨の見学を実施しています。開花から収穫、枝の剪定まで一年の間に何回かに分けて見学をし、その時の梨園の様子や作業内容を確認しいろいろな質問をします。今年は9月になっても猛暑が続き、暑さ指数もかなり高い数値を示したため見学できない程でした。天気が良いのに見学を実施できないというのは初めての事でした。日程変更の後、梨園見学は実施できたのですが、その時に今年の作柄状況の中で晩生梨の新高がほぼ全滅だったという説明をしました。先生も子供たちもびっくりです。私も30年梨を栽培していますが、ここまでの被害は初めての事で、今年の夏がいかに暑かったのかを実感しました。地球温暖化ではなく、沸騰化とも言われています。人間は知恵を出し合い様々な事に対応していますが、自然にはそう容易く勝てるわけでもありません。生産現場の生の声を聞いて、子供たちに何かを感じてもらえバと思っています。これから地球規模での気候変動が待ったなしの現実となりつつある中で、次世代を担う子供たちには少しでもこの問題を意識し皆で考えていてもらいたいと思います。子供は宝です。コミュニティースクールは全面的に子供たちを応援します。

～各部からの活動報告～

【安全・安心部】 菊が育ててくれたもの

「2組の鉢に水をやってもいいですか?」「もちろん!その言葉を待っていたの、ありがとう。」

厳しい暑さの中で、「5・6年生 菊を育てよう」(総合的な学習の時間)が2学期と同時に始まりしました。一人2鉢、5年生は花数の多いスプレー、6年生は1枚に1輪を咲かせるポットマム。休み中から先生方や子供たちと一緒に土を作り、緑化協会の志村さんに指導していただき、順調に植え付けはできたものの、強い日差しの連続、頼りにしていた雨は降らない、葦簀の下で幼苗は根を張っているのか、それとも弱っているのか不安ばかり。「がんばれ、がんばれ」と声を掛け、それでも茎が枯れてしまった子供たちは2度目の植え付けに挑戦しました。そんな日々の中、苗の生長が目視できるようになった頃には、子供たちも朝の水やりが上手になり、持ち回りで肥料の当番も経験、放課後には先生方が消毒をして下さって、皆で協力し育てることが出来ました。

ところが、10月下旬に6年2組が学級閉鎖になってしまいました。どの鉢もつぼみが成長し始め、水やりは欠かせません。学級閉鎖1日目の朝、6年1組の子供たちが仲間を思い、水やりする姿に胸が熱くなりました。5年生からも「早く来て、予備の鉢に水やりをしたい」と。兄や姉に変わって水やりをしてくれる下級生も「水やりしたかった」と大はしゃぎです。5年生が学年閉鎖の時には、6年生が積極的に水やりをしてくれました。図書室の前の壁に張られている「思いやりのある姿見つけたよ!」真のその瞬間に私は立ち会えたことが有難く、いっこうに涼しくならない中で、花が少しずつ開き続けているのは、子供たちの優しい思いに菊も答えてくれているのだと思えてならないのです。

短い秋が終わり、運動会に合わせるように観察池の前には菊鉢が、校内の花壇には卒業生が育てた菊が、色とりどり咲き揃っています。背の高い皇帝ダリアも今年はたくさんのつぼみを付けて咲いています。多くの方々に楽しんで見て頂けるように先生方も工夫して下さいました。3年連続の菊花コンテスト市長賞受賞、5・6年生の皆さん、河村先生、宮本先生、高橋先生、おめでとうございます。花が枯れるまで、もうしばらく育て見守っていきましょう。

(三好 啓子)

【学習部】

9月30日（土）東光寺小学校の学芸会が体育館において行われました。新型コロナウイルス感染症流行のため、平成29年以来6年ぶりの実施で、1年生から6年生まで全員が学芸会は初めての経験でした。開会の校長先生のお話から始まり、次の順番で発表されました。

3年生『ほんとうのたからものは』いろいろな宝物がありました。宝物は児童の数だけあることを感じることができ心が温まりました。1年生『はたけのしたは おおさわぎ』入学式当時の可愛さではなく、個々のすばらしい演技の力強さに驚きました。5年生『人間になりたかった猫』仲間がいればつらくない、命の重さを感じました。スケールが大きくミュージカルの舞台を見ているようでした。2年生『スイミー』海の仲間はイソギンチャク、ワカメ等々皆どれも可愛く、特にクラゲは動きを上手に表現していました。マグロ役の先生も登場して、子供たちとの共同作業はほっこり和みました。4年生『オズの魔法使い』センターステージ（舞台）に立ってなくても、しっかり舞台下脇で声を出して体を動かして唄っている姿は、4年生全員で作っている一体感を強く感じました。「自信をもって、本当の自分も大事にしよう」もしっかり伝わってきました。6年生『夢から醒めた夢』6年生73人に夢の世界へ誘ってもらいました。さすが6年生表現が豊かで、心に届く胸を打つ場面が上手に表現できていました。

音響も充実し、臨場感がありました。友達と協力して大きな声を出して、緊張の中でもそれぞれの役を見事に演じ、より良い劇にするために、練習もたくさん積んだことと思います。各学年の演技が終了するたびに、体育館内はたくさんの拍手に包まれ、コロナ禍前の熱量が戻ってきつつあることを感じさせる子供たちの立派な舞台でした。

（石川 ちづ子）

【環境部】 芝と猛暑

保護者の皆様及び先生をはじめ関係者の皆様には日頃より東光寺小学校の校庭芝生の管理にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年は真夏日の日数と猛暑日の日数が過去最多を更新しました。その大変な中でも一生懸命にお手伝いして下さり本当に感謝しています。お忙しい中とは思いますが、これからもご協力をお願いいたします。

毎年初夏に芝生が剥げている場所に芝生の補植を行っています。例年ですと補植された芝生は何とか根付き剥げた場所が目立たなくなりますが、今年はこの記録すくめの猛暑の影響で上手く根付きませんでした。しかしながら自然の力は偉大で今現在は殆ど見分けがつかなくなっています。芝生と雑草のタッグといいましょうか、本当に感心するばかりです。先日は芝生の中で季節外れのタンポポが咲いているのを見つけて大変驚きました。

このような自然豊かな東光寺小の校庭で子供たちが育っていく事はとても喜ばしいのではないのでしょうか。子供たちの心豊かな成長の為に校庭芝生の管理を頑張っていきたいと思います、どのような形でも結構ですので皆様の応援とご協力をよろしくお願いいたします。

（速水 亨）

